

2020年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス
 コード番号 2927 URL <https://www.ams-life.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 浅山雄彦
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室長 (氏名) 土屋昭弘

TEL 054-281-5238

四半期報告書提出予定日 2020年7月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年8月期第3四半期の連結業績(2019年9月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第3四半期	11,673	4.5	788	5.9	785	8.8	441	33.8
2019年8月期第3四半期	12,219	4.3	838	7.3	861	15.2	667	31.5

(注) 包括利益 2020年8月期第3四半期 455百万円 (27.1%) 2019年8月期第3四半期 624百万円 (23.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第3四半期	31.42	
2019年8月期第3四半期	47.47	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年8月期第3四半期	18,275	10,213	55.9
2019年8月期	18,327	10,109	55.2

(参考) 自己資本 2020年8月期第3四半期 10,213百万円 2019年8月期 10,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期		10.00		15.00	25.00
2020年8月期		10.00			
2020年8月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年8月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2020年8月期の連結業績予想(2019年9月1日～2020年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	4.6	900	8.3	900	11.3	550	29.8	39.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年8月期3Q	14,144,720 株	2019年8月期	14,144,720 株
期末自己株式数	2020年8月期3Q	81,012 株	2019年8月期	80,969 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年8月期3Q	14,063,733 株	2019年8月期3Q	14,063,751 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、当初は、企業収益が高水準を維持し、雇用・所得環境は継続的な改善がみられるなど、緩やかな回復基調が続きました。しかし、本年1月以降、新型コロナウイルス感染症の世界規模での感染拡大により、国内外での経済活動は急激に縮小しており、先行きの不透明感は強まっております。

当社グループが属する健康食品市場は、通信販売チャネルにおいて在宅率の高まりなどにより利用機会の増加がみられたものの、小売・卸販売チャネルにおいては、インバウンド需要の減少や外出自粛による影響が出ております。

このような状況の下当社グループでは、美容商材の伸長により海外部門の売上高が前年同期比2桁増となったものの、乳酸菌・酵母関連商品の受注が減少したOEM部門が減収となったほか、店舗閉鎖や新型コロナウイルス感染症による休業などにより店舗販売部門も減収となり、第3四半期の連結売上高は11,673百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は788百万円（前年同期比5.9%減）、経常利益は785百万円（前年同期比8.8%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却益が減少したほか、貸倒引当金繰入額や投資有価証券評価損などの特別損失を計上した影響も加わり、441百万円（前年同期比33.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ヘルスケア事業)

・OEM部門

当社グループの主力事業である当部門は、マスク着用が常態化する中で、口臭対策のニーズの高まりにより口腔ケア商品が好調な売れ行きとなりました。また、プロポリスやビタミンも堅調に推移いたしました。一方、インバウンド需要のある免税店やドラッグストア業顧客からの受注が減少したほか、前年同期に好調であった乳酸菌・酵母関連商品の受注が減少したことなどにより、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

機能性表示食品については、前期に続き、商品開発、届出のサポートを強化しております。

・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、シンガポールをはじめ、ほとんどの国においてロックダウン措置により経済活動が停滞しており、特に外出制限下において美容商材に影響が出ております。当累計期間では、インドネシアの顧客において、美容商材が大きく伸長したことにより、当部門の売上高は前年同期比2桁増となりました。

・通信販売部門

記事広告などの新聞広告ならびにTVショッピングを展開し、新規顧客の獲得が順調に推移いたしました。また、新規顧客へのフォローを強化し、リピート率の向上に努めました。ネット受注においては、定番人気商品『薬用アミノ酸シャンプー爽快柑』などを商材としたアフィリエイト広告投下により同シリーズの受注が伸びました。その結果、当部門の売上高は前年同期を上回りました。

・卸販売部門

主力商品『華舞の食べるコラーゲン』をはじめとした華舞シリーズが順調に推移いたしました。販路拡大及び販売強化を目的として積極的に展示会や販売会へ出展いたしましたが、3月以降、中止が続いており、また、外出自粛や海外販売を行う国内事業者からの受注が停滞するなど新型コロナウイルス感染症の影響が出ております。その結果、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

・店舗販売部門

昨年9月に人気商品『ラ・ヴィ・プラセンタ』のパッケージをリニューアルし、販売を強化したほか、催事、セミナー、相談会などを積極的に実施いたしました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、催事の中止、店舗の休業や営業時間短縮、ならびに、店舗数の減少による減収が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高10,681百万円（前年同期比5.3%減）となったものの、粗利益率の改善に加え、広告宣伝費などの節減効果により、営業利益1,212百万円（前年同期比2.7%増）（全社費用調整前）となりました。

（医薬品事業）

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品につきましては、ジェネリック医薬品である『タダラフィル錠』（勃起改善薬）を本年4月末に上市し、売上・利益に寄与しました。また、重点販売商品として位置付けている自社製造医療用ジェネリック医薬品『ピムロ顆粒』（下剤）をはじめ、『フィナステリド錠』（AGA治療薬）、『シルデナフィル錠』（勃起改善薬）が順調に売上を伸ばしました。

以上の結果、医薬品事業の業績は、売上高が992百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益6百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し、9,684百万円となりました。この増加要因は主として、控除科目である貸倒引当金が73百万円増加した反面、原材料及び貯蔵品が138百万円増加したことによるものであります。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ107百万円減少し、8,590百万円となりました。この減少要因は主として、投資その他の資産のその他が59百万円、無形固定資産のその他が30百万円増加した反面、償却により有形固定資産全体で190百万円減少したことによるものであります。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ757百万円減少し、6,138百万円となりました。この減少要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えなどにより、短期借入金が725百万円減少したことによるものであります。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ602百万円増加し、1,923百万円となりました。この増加要因は主として、返済期限が到来した1年以内返済予定の長期借入金の借り換えにより、長期借入金が622百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ103百万円増加し、10,213百万円となりました。この増加要因は主として、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が90百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年4月9日の「2020年8月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,437,201	4,467,447
受取手形及び売掛金	2,163,999	2,130,489
商品及び製品	1,088,030	1,153,007
仕掛品	819,215	788,899
原材料及び貯蔵品	916,063	1,054,500
その他	236,960	195,773
貸倒引当金	△31,920	△105,130
流動資産合計	9,629,550	9,684,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,853,907	2,754,885
土地	3,895,432	3,895,432
その他(純額)	1,107,052	1,015,487
有形固定資産合計	7,856,393	7,665,805
無形固定資産		
のれん	1,020	255
その他	147,596	178,212
無形固定資産合計	148,617	178,467
投資その他の資産		
その他	714,083	773,710
貸倒引当金	△21,563	△27,552
投資その他の資産合計	692,520	746,157
固定資産合計	8,697,530	8,590,431
資産合計	18,327,080	18,275,417
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,814,273	1,914,929
短期借入金	3,593,459	2,867,715
未払法人税等	245,855	120,622
賞与引当金	171,000	255,000
ポイント引当金	19,137	21,435
その他	1,052,474	958,532
流動負債合計	6,896,200	6,138,233
固定負債		
長期借入金	485,802	1,108,195
役員退職慰労引当金	180,858	193,073
退職給付に係る負債	425,693	452,623
負ののれん	1,126	704
その他	227,552	168,970
固定負債合計	1,321,033	1,923,566
負債合計	8,217,233	8,061,800

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,131,839	2,131,839
資本剰余金	2,195,880	2,195,880
利益剰余金	5,913,891	6,004,119
自己株式	△59,284	△59,314
株主資本合計	10,182,327	10,272,525
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67,431	△54,784
為替換算調整勘定	△5,048	△4,123
その他の包括利益累計額合計	△72,479	△58,908
純資産合計	10,109,847	10,213,617
負債純資産合計	18,327,080	18,275,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2020年5月31日)
売上高	12,219,420	11,673,283
売上原価	8,786,606	8,282,518
売上総利益	3,432,813	3,390,764
販売費及び一般管理費	2,594,393	2,601,985
営業利益	838,420	788,779
営業外収益		
受取利息	1,404	2,518
受取配当金	11,882	7,533
投資有価証券売却益	20,476	3,748
受取賃貸料	15,133	15,781
負ののれん償却額	422	422
その他	9,608	9,591
営業外収益合計	58,927	39,596
営業外費用		
支払利息	27,767	25,080
投資有価証券売却損	—	563
その他	7,989	17,338
営業外費用合計	35,757	42,982
経常利益	861,590	785,392
特別利益		
固定資産売却益	95,846	175
補助金収入	2,737	4,096
特別利益合計	98,584	4,271
特別損失		
固定資産除却損	14,093	7,821
投資有価証券評価損	—	35,469
賃貸借契約解約損	—	7,227
貸倒引当金繰入額	—	49,393
特別損失合計	14,093	99,910
税金等調整前四半期純利益	946,081	689,753
法人税、住民税及び事業税	291,041	272,973
法人税等調整額	△12,613	△25,041
法人税等合計	278,428	247,932
四半期純利益	667,653	441,821
親会社株主に帰属する四半期純利益	667,653	441,821

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益	667,653	441,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△42,724	12,646
為替換算調整勘定	—	924
その他の包括利益合計	△42,724	13,570
四半期包括利益	624,928	455,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	624,928	455,392
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	11,274,285	945,134	12,219,420
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	11,274,285	945,134	12,219,420
セグメント利益又は損失(△)	1,180,159	△33,132	1,147,027

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,147,027
全社費用(注)	△308,607
四半期連結損益計算書の営業利益	838,420

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	10,681,166	992,117	11,673,283
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	10,681,166	992,117	11,673,283
セグメント利益	1,212,091	6,380	1,218,472

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,218,472
全社費用(注)	△429,693
四半期連結損益計算書の営業利益	788,779

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。